

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 5 月 30 日

前
午 9 時 40 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 5 月 30 日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員

土屋和幸 印

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	市の福祉行政における社会福祉協議会の役割について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市の福祉行政における社会福祉協議会の役割について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>社会福祉協議会は、日頃より市の委託を受け懸命に務められていることは、わたくしも充分承知しておりますし感謝もしております。</p> <p>しかし、私が感じているだけかもしれませんが、社会福祉協議会は健康福祉部の補助委託事業を受けるだけの関係なのではないでしょうか。</p> <p>社会福祉協議会の運営している事業には、市は多くの補助金を出していますが、その成果をどのように評価していますか。また、委託事業についても同様にお伺いいたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市全体の福祉の向上には、行政と社会福祉協議会が強固に連携することが必要であると考え、市の福祉行政における社会福祉協議会の役割についてお伺いいたします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉協議会と市の関係は、どのような関係でしょうか。 2. 成年後見制度の中核機関について、4月から委託を開始している状況を教えてください。 3. 障がい者特定相談事業の状況を教えてください。 4. 災害時のボランティア活動における社会福祉協議会の役割を教えてください。どのような体制で地震・津波に備えているのでしょうか。 5. 「ちょこっとボランティア」をどのように評価しているか伺います。 	

6. 移動支援事業における社会福祉協議会の役割はどのようになっていますか。

7. マイクロバスの貸出事業の状況について教えてください。

8. よりよい地域社会の実現のため、市は社会福祉協議会との連携をどのように考えていますか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 5 月 30 日

前
午 10 時 15 分 受付
後

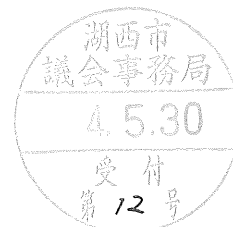
下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 瀧本 幸夫

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	学校教育施設適正化と併せた跡地利用の検討について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	学校教育施設適正化と併せた跡地利用の検討について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和4年3月の湖西市立学校教育施設適正化検討委員会報告書の中で、「本市の望ましい適正配置」に関する記載があり、その中で「統廃合によって学校として使用されなくなる跡地の利用についても検討した上で進める必要もある」と書かれています。</p> <p>当該報告書については、地域住民に対する「意見交換会」を開催し、丁寧な説明をしていただいているかと思いますが「跡地の利用・廃校施設の活用」についても地域住民の意見を聴き、しっかりと検討することが重要であると考えます。</p> <p>また、その「跡地の利用・廃校施設の活用」が地域の課題解決や活性化につながるような施策でなければなりません。</p> <p>学校教育施設適正化の検討をよりスムーズに進めるためにも、同時並行で「跡地の利用・廃校施設の活用」の検討が必要であると考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>学校教育施設適正化の検討と併せ、統廃合をする場合の「跡地の利用・廃校施設の活用」の検討についても着実に進めていただくため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統廃合をする場合の「跡地の利用・廃校施設の活用」については、現時点でどのような検討をされているか。 2. 地域の課題解決や活性化につながるような「跡地の利用・廃校施設の活用」の検討に当たり、地域住民からの意見聴取については、どのように考えているか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

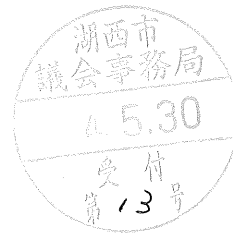
令和 4 年 5 月 30 日

前
午 11 時 35 分 受付
後
(受付順位 番)

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 吉田建二



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	小中学校におけるモノづくり人材の育成促進について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	小中学校におけるモノづくり人材の育成促進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>当市の産業は従前よりモノづくり企業が集積し、地域の経済活動を大きく支えている。</p> <p>今後もモノづくり産業の現状を保持し継続させていくためには、人口減少が予測されていることから、モノづくりに係る意欲を持った人材を育成していかなければなりません。</p> <p>そこで郷土の偉人豊田佐吉翁の「報恩創造」のモノづくり精神を理解した、創造力豊かな子供たちを育成していくことが重要であると言えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>質問を通し、モノづくり人材育成の更なる促進につなげたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、小中学校において、佐吉翁のモノづくり精神や功績について、どのように指導されているか、現状について伺います。 2. 指導の内容や指導形態については、指導要綱や指針などが定められているのか伺う。 3. 「豊田佐吉ものがたり」の小冊子を、モノづくり精神を指導する教材として、市内の全学校で活用されたと考えるがいかがか伺う。 4. 佐吉記念館の生家や資料展示室、又、夜学会で使った観音堂などの現地見学を全学校で実施されたと考えますがいかがか伺う。 5. 佐吉生誕 150 周年のとき、多くの事業が実施されましたが、その中に「佐吉道場の開設」あったように記憶していますが、その後どうなったか伺います。 	

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 5月30日

前
午11時58分 受付
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年5月30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 福永桂子



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	自治体における健康増進施策の展開について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	自治体における健康増進施策の展開について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>我が国の健康増進の基本的考え方の基本として「健康増進法」があります。第7条には「厚生労働大臣は、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針を定めるものとする。」とあります。</p> <p>その基本的な方針として、「健康日本21<第二次>厚生労働省告示第430号」(平成24年7月10日)が発出されています。</p> <p>健康の増進に関する基本的な方向として以下の5点があげられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 健康寿命の延伸と健康格差の縮小 ② 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 (NCD (非感染性疾患) の予防) ③ 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上 ④ 健康を支え、守るための社会環境の整備 ⑤ 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善及び社会環境の改善 <p>これを実現するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等 2 疾病予防・重症化予防 3 介護予防・フレイル対策、認知症予防 <p>が必要とされ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進 ② 地域・保険者間の格差の解消 <p>をすることが求められ、「自然に健康になれる環境づくり」「行動変容を促す仕掛け」が必要であるとされています。</p> <p>快適で豊かな暮らしをするためには、まずは健康であることが必要です。その地域に住む人の生活を守るための健康増進は自治体にとっての責務であると考えます。</p>	

(質問の目的)

健康づくりの環境を整えることは自治体の努めであり、湖西市でも「健康こさい21」(2016-2023)を作成しています。そこで湖西市の健康増進の取り組みについてお聞きし、またより効果的と思える健康増進の取り組みを提案いたします。

(質問事項)

1. 「健康こさい21」は、大目標、中目標、そして小目標として各領域ごとの目標が掲げられていますが、「健康こさい21」の目標達成度合いを全体的にどう評価していますか。

2. 「健康こさい21」の課題として「静岡県は全国的にも健康寿命が比較的長いといわれる健康長寿の県です。しかしながら、湖西市は各種有病率が高い傾向にあります。」とされていました。

現在、その課題は解消されていますか。

3. 施策・取り組み・対策も「個人・家族」「地域・団体」「市」で取り組むことも書かれており、かなりきめの細かい施策を展開していると感じますが、個別の取り組みは順調に進んでいますか。

4. 最近の福祉費や医療費の増大は湖西市の財政の圧迫要因になっています。行政として健康増進に積極的に取り組むことは、結果的に要介護にならずに済んだり、病院にかからなくなったりという効果が期待できると思いますが、どう考えますか。また、なかなか効果が検証されている根拠は無いと思いますが、そのあたりの効果のデータや論文等のリサーチは行ってみてはいかがでしょうか。

5. 最近の健康増進の取り組みにおいて、少しユニークな動きが出てきています。ドイツのクアオルトの考え方を基本に、日本における豊かな自然と地域に根差した産業や観光などと健康を結び付け、より効果的な健康増進を図ろうとする取り組みがあります。それについての見解をお聞きします。

6. 湖西市には豊かな自然環境や景観があり、しっかりとした産業基盤と健康増進体制が整っていると思います。このような考え方に基づく日本型クアオルトの取り組みについて湖西市でも取り入れてはいかがでしょうか。例えば、毎日健康ウォーキングや体に優しいバランス弁当、宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）など。

7. 湖西市型の健康づくりの取り組みを推進するための「社会環境整備」について、幼児からお年寄りまで楽しく利用できるアスレチックや健康遊具等が設置された公園の整備が必要と考えますがいかがでしょうか。また、現在、健康遊具が設置されている公園の数と場所をお聞かせください。

【参考】

（質問事項 5）

① ドイツの「クアオルト」

クアオルト(Kurort)とはドイツ語で、クア(Kur)「治療・療養・保養のための滞在」とオルト(Ort)「場所・地域」という言葉が合わさったもので、「療養地」という意味です。国が認定し、4つの自然の療養要素で公的医療保険が適用される特別な地域です。

② 「日本クアオルト協議会」

日本クアオルト協議会は、ドイツのクアオルトの考えを基本に、日本の風土に合った滞在型の健康保養地づくりに賛同する、現在は8自治体で構成しています。「海や山、川、温泉など恵まれた自然資源や食、歴史や文化、農林漁業、商工サービス、人材といった地域資源を「健康」を中軸として連携して活用し、地域住民や来訪者の健康増進を図ることができる、質の高い滞在型の健康保養地を目指すため、民間企業や学術機関、行政、医療や介護の分野、そして地域住民が連携し健康づくりをはじめとし、景観・環境の形成、観光や産業振興など総合的なまちづくりとして、日本の新しい地域活性化のモデルケース作りのあり方を研究し、県境を越えた連携の取り組み」を実施しています。

（質問事項 6）

① 山形県上山市で行われている取組で「上山型温泉クアオルト事業」を柱に、観光資源を組み合わせたプログラム。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること